

大草谷津田いきものの里をめぐるキーワード

【谷津田】

下総台地では、小さな谷が無数に入り組み樹枝状になっておりこれらの谷は谷津と呼ばれています。一部の谷津では低地が湿地であることから水田として利用され、「谷津田」とよばれるようになりました。



【森林】

谷津田の森林は水量を保ち水質を浄化するだけではなく、枯れ葉や枯れ枝が植物の栄養源となるなど生態系を保全します。また、CO₂を吸収・蓄積し、酸素を供給・蒸発散することで地球環境を調整する機能もあります。



【自然観察会】

谷津田の多様な生態系を感じていただくため、定期的に日曜日の午前中に自然観察会を開催しています。スケジュール等詳細については市ホームページ又は市政だよりをご覧ください。



【アクセス】

モノレール千城台駅から南へ1.2km。モノレール千城台駅からコミュニティバス(いずみバス)左回りで「大草谷津田いきものの里」下車すぐ、又は同バス右回りで「大草台」下車200m。JR千葉駅又はモノレール千城台駅から京成バス「千城台車庫」行で「終点」下車、400m。JR千葉駅から、ちばフランワーバス「中野操車場」行で「大草」下車、北東へ750m。

【駐車場】

9:00~17:00(4/1~10/31)

9:00~16:30(11/1~3/31)

※駐車台数が少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ先】

千葉市環境局環境保全部環境保全課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

TEL.043-245-5195 FAX.043-245-5553

E-mail: kankyohozan.ENP@city.chiba.lg.jp

※大草谷津田いきものの里の詳細や市内その他の谷津田等の情報は環境保全課ホームページをご覧ください。



大草谷津田
いきものの里

自然観察会

環境保全課



大草
谷津田
いきもの里





大草谷津田いきもの里の成り立ち

いきものの里は、「鳩巣(こうのす)」という小字名が示すように明治時代中期まではコウノトリが営巣していたとも伝えられており、近年まで田んぼや森林で農的な営みが行われ、ふるさとの原風景であり多様な生態系を有する「谷津田の自然」が保たれていました。

千葉市では「谷津田の自然」を守り育て次の子どもたちに引き継ぎ、人と自然がふれあい学ぶ場として利用するため、土地所有者の方々の協力により整備を行い、平成18年5月に開設しました。現在はボランティアの方々によって谷津田の自然を保全するための昔ながらの手法による農作業等の活動や、いきものの調査が行われています。



谷津田の代表的ないきもの (ヘイケボタルとニホンアカガエル)

6月下旬～8月上旬にかけてヘイケボタルを、5月～11月にかけて二ホンアカガエルを見るることができます。

いずれも農薬を使わないなど、いきものに配慮した手法で保全を行っているからこそ見ることができるいきものの代表です。

自然観察路コースガイド

コースの見所には解説板があり、自然や生き物について学べます。

全長:約1.5km 所要時間:30分~1時間

利用する皆さんへ

- ゴミは持ち帰りましょう。
- 動植物を持ち込んだり取ったりするのはやめましょう。
- 犬の放し飼いはやめましょう。フンは持ち帰りましょう。
- タバコの投げ捨て、たき火をしてはいけません。
- 他人に迷惑をかけるような行為はやめましょう。
- 動植物保護や生活環境保全のため、決められた場所や観察路以外には入らないでください。
- マムシやスズメバチなど、危険な生き物がいることもありますので、長袖・長ズボン等を着用するなど、安全に気を付けてください。